



私たちは、生徒の「夢・挑戦・自立」を応援します



令和6年11月15日発行

校長 浅香 英典 No7

芸術にふれる

校長 浅香英典

10月19日(土)に実施された白樫祭に多くの保護者や地域関係者の皆様に参加いただきありがとうございました。およそ200人の方にご来校いただき、生徒の発表を見守っていただきました。生徒たちは昨年度以上の白樫祭を目標に準備や練習を重ねてきました。目標が明確なことで、見通しをもって活動することができました。堂々と発表する税の作文、英語プレゼンテーション、笑いをさそう津軽弁でのドラえもん、データと寸劇で真剣に考えるいじめ防止、地域の伝統芸能にふれる獅子舞、クラスの個性を出した合唱、一段と質を上げた有志合唱、会場が一体になった吹奏楽部演奏とすべて見ごたえがありました。

努力をしてきた仲間とともに発表する時間は非常に貴重な時間になりました。発表する時間を共有した仲間と信頼関係を築く白樫祭になりました。白樫祭の目的である「仲間とよりよく関わる」を達成することができました。

この季節は、本校だけでなく、足立区立中学校連合行事として文化・芸術的な取組が行われ、本校生徒も数多く参加しました。連合英語学芸会では代表生徒2名が英語プレゼンテーションを行いました。連合音楽会では22人の有志生徒が合唱を披露しました。連合展覧会に授業で制作した書写、美術、技術、家庭の66作品を出品しました。また、本校では11月14日(木)にアウトリーチコンサートを行いました。プロによる金管楽器の演奏、それも私たちの目の前で奏でるハーモニーは、聞いている私たちの心に強く響きました。

芸術にふれることは様々な効果があります。文化庁が発表した「文化芸術の振興に関する基本的な方針(平成14年12月閣議決定)」には、「芸術、伝統芸能、生活文化、文化財などの文化芸術は、人々に楽しさや感動、精神的な安らぎや生きる喜びをもたらす、人生を豊かにするものです。また、豊かな人間性を涵養し、創造性をはぐくみ、人間の感性を育てるほか、他者に共感する心を通じて、他人を尊重し、考えを異にする人々と共に生きる資質をはぐくむものです。」と記されています。

様々な効果が期待される活動を計画的に実施することが、本校の学校経営計画重点事項の一つである「豊かな心の育成」につながると考えています。今後も、日々の学習を大切にしながら、芸術活動や体験活動、キャリア教育を計画的に実施し、将来の自立に向けた基盤づくりを続けていきます。

11月20日(水)から3日間の日程で2年生が職場体験を行います。12月7日(土)はPTAとおやじの会との協力で、全生徒が餅つき体験を行います。12月12日(木)には2012ロンドンオリンピックバレーボール銅メダリストの荒木絵里香さんによる講演とデモンストレーションが行われます。本物にふれること、地域関係者とふれあうことを通して、豊かな感受性やコミュニケーション力を身に付けるとともに、学習や学校生活への意欲向上を図り、更なる成長につなげてまいります。